



1. 3件の調達取決め（Procurement Arrangement, PA）を締結

日本が調達責任を有する「ITER ブランケット遠隔保守装置」, 「中性粒子ビーム加熱装置 (NB) 用高電圧プッシング」, 「NB 用高電圧部電源」の調達を開始するため, この度, 原子力機構は ITER 機構との間で 3 件の調達取決めを締結いたしました。

これにより, ITER 真空容器内の高い放射環境下で保守作業を行うブランケット遠隔保守装置 (保守ロボット) (図 1), イタリアのパドバに建設予定の NB 試験施設用の高電圧プッシングおよび NB 電源システム (図 2) の調達に着手します。



写真 1 3 件の調達取決め書を前に握手を交わす原子力機構二宮核融合研究開発部門長と ITER 機構ハンゲ副機構長。

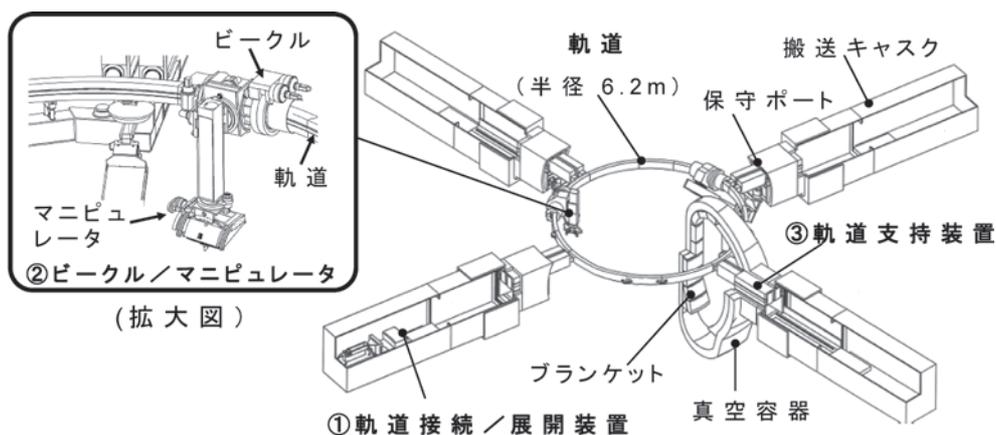


図 1 真空容器内の保守ロボット。

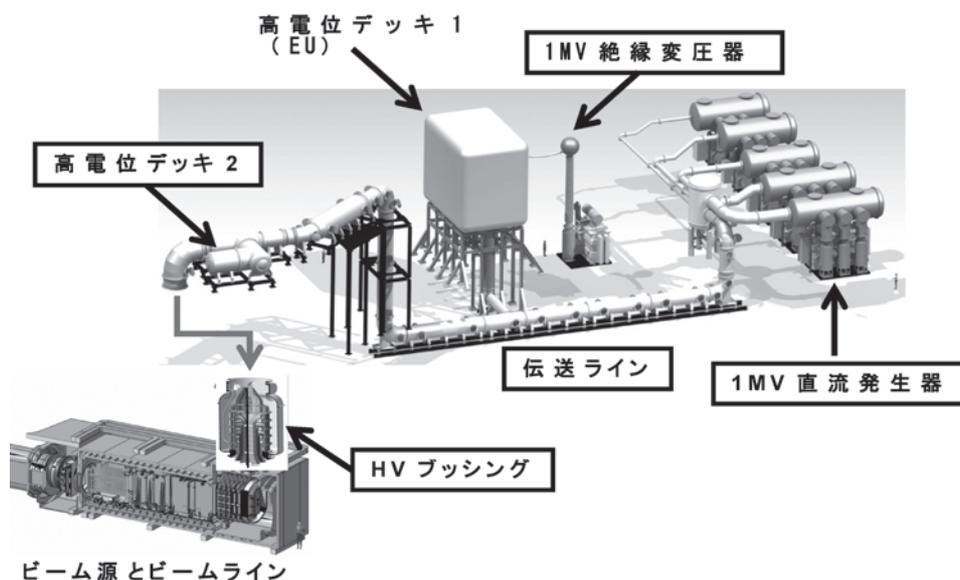


図 2 NB 電源システムと日本分担の機器 (□ 部分)。

2. ITER 企業説明会の開催

2月23日には、29団体から45名の参加者を迎えて、東京日本橋において第19回 ITER 企業説明会が開催されました。文部科学省片岡研究開発戦略官（核融合・原子力国際協力担当）より ITER 計画に関する最近の状況について説明頂くとともに、今回締結された3件の調達取り決めを含む国内機関での調達状況について原子力機構より説明を行い、活発な意見交換が行われました。

原子力機構では ITER 企業説明会を開催しております。今後の開催スケジュールや、これまでの開催状況などに関しては ITER ウェブサイト (<http://naka-www.jaea.go.jp>) の「企業説明会の開催について」をそれぞれご覧ください。

(日本原子力研究開発機構 核融合研究開発部門)



写真2 第19回 ITER 企業説明会の様子。